

令和2年度 経営発達支援事業の結果報告

事業評価委員会

日 時：令和3年3月11日（木）午前11時00分開催

出席者：久保田均 委員（太田市産業環境部 部長）

間普 崇 委員（関東学園大学 経済学部教授）

戸塚栄三郎委員（中小企業診断士）

橋本専務理事、湯沢事務局長、川内所長、関口

内 容：資料に基づき支援事業の結果について事務局から説明し、別紙の通りの評点と評価コメントを頂いた。

この評価の結果を4月11日（火）開催の正副会頭会議にて説明し、委員から指摘を頂いた事項を改善しながら、継続して取り組むことで承認を頂いた。

事業実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日（平成29年度開始5か年計画）
（令和3年2月末の実績で評価）

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

調査事業名	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
① 管内景況調査 （DI調査）	○	4回	4回	4回
② 景況感聞き取り調査	△	12回	6回	12回
③ 経済概況発行	○	1回	1回	1回
④ 小規模企業景況調査	○	1回	1回	1回

2. 経営状況の分析に関すること

支援内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
経営状況分析件数	○	96件	134件	70件
① 経営状況分析セミナー開催数	○	2回	3回	2回

① 経営状況分析セミナー開催

元年度は、昼間の2回開催で経営状況分析と事業計画作成を兼ねたセミナーを実施。セミナー所要時間は2時間とし、終了後に専門家相談を予約制で実施し、合計30名が参加した。

2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、少人数制（5名以下）の小規模事業者持続化補助金申請書作成相談会を3回実施した。相談会に参加した事業者には、別途個別相談会への参加を促し、引き続きフォローを実施した結果、10月2日の応募締め切りに3名が一般型、4名がコロナ特別対応型の事業計画書を作成し申請を行った。

題 名：小規模事業者持続化補助金申請書作成相談会

日 時：令和2年9月2日(水)午後2時 5名

令和2年9月3日(木)午後2時 5名

令和2年9月4日(金)午後2時 5名

計15名参加

講 師：田辺 浩氏（中小企業診断士）

3. 事業計画策定支援に関すること

支援内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
事業計画等策定支援数 (経営革新、事業承継含む)	○	56件	133件	71件
創業・第二創業計画策定 支援数	○	20件	28件	28件
① 事業計画セミナー数	○	2回	3回	2回
経営革新計画セミナー数	×	1回	0回	0回
事業承継セミナー数	×	1回	0回	1回
② 創業スクール数	○	1回	1回	1回

① 事業計画セミナー開催

2. ①経営状況分析セミナー同様

② 創業スクール開催

題 名：「太田商工会議所創業スクール」

期 日：令和2年10月1日(木)、8日(木)、15日(木)、22日(木)、29日(木)

時 間：午後6時30分～午後9時 計5回（合計12時間30分）

受講者：28名

講 師：石川知穂氏（中小企業診断士）

創業者：1名（製造業）＊令和3年中に2名が創業予定

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

支援内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
事業計画等策定後の フォローアップ事業所数	○	56件	67件	55件
創業・第二創業者の フォローアップ事業所数	×	20件	3件	4件
フォローアップ 延べ事業所件数	○	152件	185件	131件

5. 需要動向調査に関すること

支援内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
① 経済産業省生産 動態統計調査	○	12 回	12 回	12 回
② 商圈調査	○	12 回	12 回	12 回
市民アンケート調査	×	1 回	0 回	0 回
③ インターネット調査	○	12 回	12 回	12 回
個社支援需要動向調査 支援数	×	12 回	0 回	0 回

① 経済産業省生産動態統計調査：自動車部品製造動向を月ごとに集計

② 商圈調査：市内の人口動態を集計

③ インターネット調査：日経NEEDS統計データから家計、住宅着工数、自動車販売など参考と思われる情報を収集保存。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

支援内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
① ビジネスプラス発表会発表数	△	12 社	8 社	7 社
展示会・商談会出店数（上段）	×	10 件	0 件	0 件
と成約数（下段）	×	5 件	0 件	0 件
② ネット販売進出件数	×	10 社	0 件	0 社

① ビジネスプレス発表会

第22回 令和2年10月28日（水） 4社

第23回 令和3年 2月 4日（木） 4社

② ネット販売進出

ネット販売に適した業態の方の相談が無かった。

II. 地域経済の活性化に資する取組

取組内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
① おおたナイト・バル	○	1回	1回	ハロウィンバル
呑龍市	×	2回	0回	1回
② まちゼミ	×	1回	0回	1回
婚活事業	×	1回	0回	1回

① おおたナイト・バル

開催期間：令和2年12月1日～令和3年1月31日

コロナ禍のなか飲食店を支援することを目的に開催。しかしながら12月下旬より緊急事態宣言が発令され、県内においても夜8時までの営業に時短が要請されたため、参加者は低調な結果となった。

② まちゼミ

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、まちゼミは中止となる。代わりに、まちゼミ参加事業者のPRを目的に、ゼミの内容を紹介する動画をyoutubeにアップした。また、特別広報誌を作成し、過去のまちゼミ参加者に対して郵送を行った。

III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
① 群馬県中小企業サポーターズミーティングの活用	○	1回	0回	1回
② 広域経済交流推進協議会指導員交流会議の活用	×	2回	0回	0回
③ 市内金融機関懇談会の活用	○	1回	1回	1回
④ 地域産学官連携ものづくり研究機構交流会議開催	×	2回	0回	1回

- ① 群馬県中小企業サポーターズミーティング
 - ・コロナの影響で発表会は中止。(日常的にメールマガジンで情報収集)
- ② 広域経済交流推進協議会指導員交流会議の活用
 - ・協議会が解散となったため、活動は無くなる。
- ③ 市内金融機関懇談会の活用
 - ・11月18日 懇談会及び(株)SUBARU 大抜哲雄調達本部長講演
- ④ 地域産学官連携ものづくり研究機構との交流
 - ・機構主催のスキルアップ研修を当所会報でPR。

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容	自己評価	2年度目標	2年度実績	元年度実績
① 中小企業大学校研修	○	2回	3回	1回
② 県内経営指導員研修会	△	2回	1回	2回
③ 補助員研修及び一般職員研修	○	1回	2回	1回
④ 日商WEB研修	△	—	各自実施	各自実施
⑤ 民間WEB研修	△	—	各自実施	各自実施
課題解決研修会	×	1回	0回	1回
⑥ 支援能力の組織財産化	○	—	継続	継続

- ① 中小企業大学校研修
 - ・「経営者に寄り添う事業継続と資金繰り支援」 9/1～4 経営指導員1名派遣
 - ・「ビジネスプラン策定の実践術(1)」 7/29～31 経営指導員1名派遣
 - ・「税務財務診断」 11/2～30 経営指導員1名派遣
- ② 県内経営指導員研修会 8/26、31
 - ・群馬県産業経済部の各種施策について
 - ・中小企業のテレワーク～基礎編・実践編～
 - ・経営リスクの備え対処～自然災害リスクと感染症リスク～
 - ・「ここからアプリ」を用いたIT導入支援
 - ・アフターコロナの事業承継について
- ③ 県内補助員研修及び一般職員研修
 - ・ファッションビジネスを題材とした生産、マーケティングの基本知識の習得と産業変革への理解 10/13
 - ・コロナ禍におけるリモートワークも踏まえた社内における信頼関係の築き方とモチベーションの高め方 12/1

④ 日商WEB研修

- ・eラーニング方式で中小企業経営全般を学習できるようになっている。中小企業に対する創業・経営革新に必要なビジネスおよび情報関連の知識を身に付けることを目的としている。全職員受講。

⑤ 民間WEB研修

- ・(株)イー・ブレンが運営する経営に関する研修で500タイトルが運営されている。弊所職員及び小規模事業者が事業所や自宅で受講できるよう無料で公開している。
*昨年度から県の補助金で運営し、年間通して利用可能。

⑥ 支援能力の組織財産化

- ・平成30年度から業務の引継書の様式を統一し、業務フロー図を用いて表すよう作成に着手し継続する。

令和2年度 太田商工会議所 経営発達支援計画 評価結果 令和3年3月11日

分類	項目	久保田委員	間普委員	戸塚委員	平均	委員からのコメント
経営発達支援事業の内容	1.地域の経済動向調査に関すること	5	4	5	4.7	市の社会経済動向を知る上で重要であり、継続実施していただきたい。(久保田委員) コロナ禍の下、聞き取り調査を控えたことについては適切であったと考える。(間普委員) 調査については、特に聞き取り等、現在のコロナの状況等を考えると大変だったと思います。良く出来ていると思います。(戸塚委員)
	2.経営状況の分析に関すること	5	5	5	5.0	コロナ禍における小規模事業者への支援として、適切に実施されています。(久保田委員) コロナへの対応を含め、積極的に支援を行ったと考える。(間普委員) 経営状況が悪化する企業が多い中、自社の分析が大切であり、多くの件数に対応出来たことは評価出来ると思います。(戸塚委員)
	3.事業計画策定支援に関すること	5	5	5	5.0	創業に係る支援を引き続き推進してください。(久保田委員) 未達のセミナーについてはニーズの掘り起こしに期待する。(間普委員) 補助金申請等で事業計画は必要であり、また現在の状況を考えれば良いタイミングで支援が出来たと思います。(戸塚委員)
	4.事業計画策定後の実施支援に関すること	4	4	5	4.3	各事業者へのフォローアップを継続的に実施していただきたい。(久保田委員) 事業所へのフォローアップを適切に実施していると考えます。(間普委員) 現在の状況の中、昨年度より実績が増えているのは、素晴らしい事だと感じます。(戸塚委員)
	5.需要動向調査に関すること	4	5	4	4.3	引き続き調査をお願いします。(久保田委員) 必要とされる調査を適切に実施していると考えます。(間普委員) コロナ禍の状況ではありますが、必要とする者(社)もおりますので継続して欲しいと思います。(戸塚委員)
	6.新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	4	2	4	3.3	継続して事業を推進してください。(久保田委員) コロナの影響が大きく、目標未達は仕方ないと考えます。(間普委員) 人が集まることが制限される期間であることを考えれば仕方ない事だと思います。(戸塚委員)
地域活性化	7.地域経済の活性化に資する取組	3	2	4	3.0	コロナ禍で厳しい状況での努力であり大変であったが、今後の取組みに期待します。(久保田委員) コロナ禍の下、各イベントを中止したことは適切な対応であったと評価する。(間普委員) 多くのイベントが中止となり、実績が少ないことは仕方のない事です、代替の事を実行していることは良い事だと思います。(戸塚委員)
支援力向上	8.他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	3	2	4	3.0	引き続き情報交換に努めてください。(久保田委員) 地道な連携を続けることを期待します。(間普委員) コロナに対応して、様々な補助金等も出て来ますので、連携の強化は増々重要となりますので、情報交換は蜜をお願いします。(戸塚委員)
	9.経営指導員等の支援力の向上の仕組み	4	4	5	4.3	継続的取り組みをお願いします。(久保田委員) コロナ禍の下、勤務が制限される中、積極的に取り組んだと考える。(間普委員) コロナの状況の中、指導員の役割が増々重要になってくると思います。資質向上に努めて下さい(戸塚委員)
	10.支援ノウハウ等を組織内で共有する体制	4	5	5	4.7	組織としての財産化を引き続き推進してください。(久保田委員) 支援ノウハウの共有化を着実に積み上げていると考える。(間普委員) 業務フロー図の使用は継続して欲しいと思います。(戸塚委員)
平均		4.1	3.8	4.6	4.2	

総合コメント

久保田委員	コロナ禍での支援は、非常に厳しい状況である中、創意工夫して伴走型の支援に心掛け、しっかり実績をあげていると思います。
間普委員	コロナ禍の下、様々な制限があった中、積極的に計画実行に取り組んだと評価する。今年度、コロナ禍への様々な対応をとった経験を、次の計画実行に生かしていけることを期待します。
戸塚委員	来年度はコロナの影響も少しは落ち着くと思いますので、継続した支援を期待します。新たな取り組みも期待しております。